

報告事項 令和7年度 井野長割遺跡保存整備事業の主な内容

1 維持管理

【実施済】

- ・北側標柱移設（7月） ・平坦面と住宅沿いの斜面地の草刈（7月）

【実施中】

- ・ロープ柵の設置と危険木7本の伐採（2月） ・井野小敷地内（井野っ子山）の草刈（3月）

2 住民意見交換会等

【実施済】

- ・7月12日（土）志津コミュニティセンターで住民意見交換会開催
（65戸にお知らせを配布したところ、途中での入出を含め6名の参加があった）
 - ・住民説明会の内容をまとめ、お知らせとして配ってはどうか。
 - ・学校と史跡の間の通路上の部分を通り抜けられないようにしてほしい。
 - ・防犯対策をしっかりとしてほしい。入口以外は入れないような囲いを設けるか、防犯カメラをあちこちにつけるとは言わないが、入口だけにでもつけてほしい。
- ・1月29日（木）史跡隣接地の歯科医院に部分公開について個別説明

3 井野長割遺跡国史跡指定20周年記念事業 別紙1

*国庫補助（「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」）を受けて実施

1. 看板とパネルについて【実施中】

遺跡紹介パネル（A1判20枚）を作成

ー講演会他、佐倉図書館ロビーにて展示（2月4日～3月15日）

遺跡説明板の設置（2月27日までに設置）

- ・大小2基の説明板に加え、井野長割公園内にも1基追加で設置する。

2. 見学会について

【実施済】8月5日（火）午前中に実施（大人60名、児童19名、未就学児3名の計82名参加）

【予定】3月1日（日）午前中に実施予定（見学会のあと部分公開開始予定）

3. 講演会「印旛地域の縄文時代後・晩期の社会」について【実施済】

12月13日（土）の午後に開催（遺跡紹介パネル展示12月10日～14日）、参加者数150名

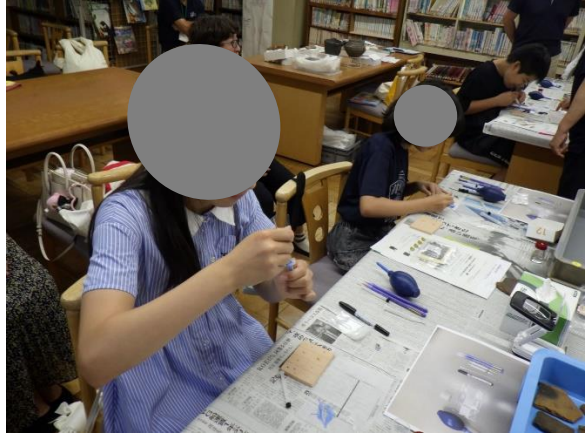
4. ワークショップ

【実施済】8月23日（土）レプリカ圧痕 対象：小学生 午前7名 午後5名 計12名参加

【予定】2月14日（土）網代あみ体験（コースター作製）午前中 小学5年生以上10名

4 井野長割遺跡に関するアンケートの結果について 別紙2～5

実施期間：8月5日（火）～12月26日（土）、回答人数：103名



ワークショップ（レプリカ圧痕） R7.8.23



解説パネル展示風景 R7.12.13



記念講演会風景 R7.12.13

様式Ver.	1
様式ID	01245
様式名	井野長割遺跡に関するアンケートにご協力ください
集計期間	令和7年8月5日～令和7年12月26日
回答数	103

単純集計項目	問1						
回答	(1)10代	(2)20代	(3)30代	(4)40代	(5)50代	(6)60代	(7)70代以上
回答数	1	8	9	22	26	24	13

単純集計項目	問2				
回答	(1)西ユーカリが丘、ユーカリが丘	(2)志津地区((1)以外)	(3)志津地区以外の市内	(4)県内	(5)県外
回答数	59	18	13	10	3

単純集計項目	問3			
回答	(1)知っているし、行ったことがある	(2)知っているが、行ったことはない	(3)遺跡名を聞いたことはある	(4)知らない
回答数	66	29	4	4

単純集計項目	問4	
回答	(1)ある	(2)ない
回答数	31	70

単純集計項目	問5	
回答	(1)知っている	(2)知らない
回答数	73	26

単純集計項目	問6				
回答	(1)公開に賛成	(2)どちらかといえば公開に賛成	(3)どちらともいえない	(4)どちらかといえば公開に反対	(5)公開に反対
回答数	48	19	9	4	23

単純集計項目	問8	
回答	(1)必要ない	(2)希望する設備名
回答数	34	69

単純集計項目	問9	
回答	(1)行ったことがある	(2)行ったことがない
回答数	74	29

単純集計項目	問10				
回答	(1)市の広報媒体を活用する	(2)文化課SNSを活用する	(3)講座やイベントを開催する	(4)屋外に説明板等を設置する	(5)その他
回答数	19	13	20	20	31

クロス集計項目	問2						
	回答	回答数	(1)西ユーカリが丘、ユーカリが丘	(2)志津地区(西ユーカリが丘、ユーカリが丘以外)	(3)志津地区以外の市内	(4)県内	(5)県外
問6	(1)公開に賛成	48	59	18	13	10	3
	(2)どちらかといえば公開に賛成	19	20	9	10	8	1
	(3)どちらともいえない	9	7	8	2	1	1
	(4)どちらかといえば公開に反対	4	9	7	1	0	0
	(5)公開に反対	23	3	0	1	0	0
			22	0	0	0	1

アンケート項目

- 問1 回答されるかたの年代についてお尋ねします。
- 問2 回答されるかたのお住まいについてお尋ねします。
- 問3 佐倉市西ユーカリが丘(志津地区)にある「国史跡井野長割遺跡(くにしせき いのながわりいせき)」を知っていますか。これまでに行ったことはありますか。
- 問4 井野長割遺跡に関する普及事業に参加したことはありますか。
- 問5 井野長割遺跡が「通常非公開」であることを知っていますか。
- 問6 今後、井野長割遺跡を部分的に公開していこうと考えています。公開することについてどう思いますか。
- 問7 問6の回答について理由を教えてください。
- 問8 公開する場合、場内にどのような設備があるとよいと思われますか。
- 問9 県内外を問わず、他の史跡公園や遺跡(城跡は除く)に行ったことはありますか。行ったことがある場合、その遺跡のどういったところが魅力的でしたか。
- 問10 井野長割遺跡について、より多くの人に知っていただくために、どのような取り組みをすると効果的だと思いますか。どのような方法で知りたいですか。

＜公開に賛成するかたの主な意見＞ 原文のまま記載しております

○西ユーカリが丘、ユーカリが丘のお住いのかた

・重要な遺跡、人類の歴史の一部でありながら非公開なのは、歴史教育の観点から合わないと思う。
なお、公開による遺跡の破壊も想定されることから、学校の授業の一環での公開、長期休暇中のみの公開等、公開方法は十分に検討されなければならない。

・地元の住人でも中に何があるか知らないので

・普段は雑草に覆われて遺跡であることが分かりづらく、忘れ去られる。最低限で人が立ち入れる公園のような形にして遺跡の特徴にある場所を見える化してアピール。

・今のままでは、何の意味もありません。ただの保護雑種地の様です。国の史跡として広くアピールすべきだと思います。

・公開によって美観の整備が進むので

・前を通るたびに「中はどうなっているんだろう？」と思います。今は埋め戻されて、ただの雑木林だと聞いていますが。現状だと「国史跡」と言われても興味を持つ人は殆どいないのではないのでしょうか？

・子供が歴史に興味を持った際に調べて行って見たが、非公開のため見れなかった。もっと身近にあることをアピールして公開して欲しい

・聞いたり読んだりということと実際に見て経験するということでは理解の深さが変わると思うから

・国史跡指定から 20 年も経つのに、史跡整備に向けて未着手なのは行政の怠慢。素晴らしい国の宝をより多くの人に知ってもらうべき。

・見学をすることで、遺跡に興味をもち、保存に協力が広がる。公園のようにして、散策道をつくり自由に入れるようにしてほしい。

・公開することで広く理解が得られるかと思う。関西方面の古墳や移籍も公園緑地化されていて憩いの場となっているものもある。埋没資料が現存し、立ち入りの制限が必要な区域がある場合には明確に分けたほうがいいと思う。

ユーカリが丘に住んでいます。井野長割遺跡の前を通る度に、ここは国指定遺跡なのに、宝の持ち腐れだと非常に残念な思いに駆られます。看板は立っていますが、関心の無い人にとってはただの雑木林です。ぜひ公開して、佐倉の地にこんなに貴重な遺跡があることを多くの人に知ってもらいたいと思います。

○西ユーカリが丘、ユーカリが丘以外の志津地区にお住いのかた

・広い敷地をそのままにしておくのは勿体無い。

・それほどたくさんの方が興味をもつわけではないだろうし、公開しても遺跡を保つことはできると思う。興味をもった人には、訪れることができるようになっていたらよいと思うから。

・公開し、知ってもらうことで貴重な遺跡であることを理解し、地域への愛着を持ち、大切にしてもらえそうだから。

・遺跡保護の観点から、限定的な公開が望ましいと思います。

○志津地区以外の市内にお住いのかた

・遺跡的な価値を評価して、適切に公開すべきと考える

・近隣の住民以外は反対する理由はないはず。

・全部公開して欲しい

・縄文時代のままの、その後の人跡の見られない貴重な国指定史跡だから

・地域の歴史を知り、その歴史が遺されていることの大切さに直接触れることは重要だと考えるから。

○県内

・特別公開という形でまず少しずつやってみるとよいとおもいます。人員を配置しなければならないし、時期や色々な問題点がでてくると思います。

・井野長割遺跡をぜひ多くの人に知ってもらいたい。井野小学校の児童や職員は、佐倉学として文化課の方に詳しく説明してもらえるが、もっとたくさんの方に知ってもらいたい遺跡である。

・時代・地域的に重要な遺跡なので、公開すべきだと思うから。

・公開しないと史跡にした意味が半減されると考えられるから

○県外

・史跡の価値を広く国民で共有すべき

＜公開に反対するかたの主な意見＞ 原文のまま記載しております

○西ユーカリが丘、ユーカリが丘

・小学校の敷地内も遺跡の一部であり、現状非公開の場所も小学校隣接しており、部外者が自由に見学出来るような状況になると困るので慎重に考えたほうが良いと思う。とはいえ、非公開というのも寂しいので、やり方が難しいところだと思う。

・今のように定期的に見学会などで良いと思います。また、価値がある場所だと知らない人が勝手に入れないように、もう少ししっかりとした柵を作ると良いと思います。今は、ただの林のようにしか見えないので、柵をつくり目立つ看板などがあると、重要な場所であると誰でも認識でき、遺跡の存在も多くの人に広まるのではないかと思います。

・治安の悪化、溜まり場になってしまう、駐車場が無く路上駐車が増える

・周囲に駐車場がない。遺跡内に住む動物が多数いるため、現状を変えない欲しい。人が出入りすることにより、自然環境が破壊されることが心配。公開する利点が分からない。

・イベント時など限定的に公開することはとても良いと思うが、常時公開することによって、現在の状態が損なわれる事が心配。常時公開するのであれば監視員の常設などが必要かと考えるが、予算をそこまでかけて常時公開することにメリットを感じない。

・公開の方法や目的が不明な為、反対。最近の公園は視認性が重視されているが、長割遺跡はそうではなく、また小学校ともいっこの山でつながっているため、卒業生含め、不用意な立入りが一定数発生してしまうのではと懸念します。(治安面、保存面の両方での懸念)観光や文化振興という意味であれば、昔の井野小内にあったように、竪穴式住居の再現をもっと広く管理できる場所(歴博、草笛の丘、ふるさと広場周辺など)で行えば良いと思います。(私は井野小には小 1 時しか通っていませんが強烈な記憶でした、縄文クッキーの味含め。子どもが今通っていますが語ると、興味津々です。)今後も景観維持を宜しくお願いします。

・この遺跡に価値がないとは思わないが、後世に伝え残していくべきモノやコトが佐倉市内に他にもあるのではないか、お金や時間や人的労力をより優先度の高い方に割くべきだと思います。

・人の出入りが増えることで騒音や治安悪化、近隣住民の生活に悪影響を与える可能性がある。

・特に興味がない。無理に後付けで理由を付けるなら自分のプライベートスペースが侵されそうな気がするとは書いておきます。

・森や遺跡は開発すると植物や動物の生息地が壊されてしまう。人が増えればゴミや騒音も増える。

・公開したい理由がわからない。マイナス面の方が大きいと感じてる。

・一般の人は、みただけでは理解できないであろう。今回のようなガイドが案内するイベントが良いと思います。

・見学者にその良さが伝わりにくい史跡であるため、整備しても市民への浸透が見込めないこと(リピートが見込めず)。それゆえに費用対効果は著しく低いと言わざるを得ない(税金の使い途としていかがなものか)。駐車場整備が伴っておらず、周辺の住環境に多大なる影響が想定されること。(違法駐車)。昼夜を問わず開放となった場合、犯罪の温床にならないか(夜間の騒音発生含む)、が懸念される。費用対効果、住民への影響懸念から、市政としては優先度合いが低いのではないかと史料する。

・キジの営巣地であるため。

○西ユーカリが丘、ユーカリが丘以外の志津地区にお住まいのかた

・公開することで今まで保存されていたものが壊されることがないように配慮してほしい

・現状静かな住宅地となっているため、多数の入り込みには慎重

・公開しても良い気がするが、遺跡が荒らされるような気がする。

○志津地区以外の市内にお住まいのかた

・多くの人に知って訪れてもらいたい反面、今の環境を壊したくない思いがあります。

・広く知っていただきたい気持ちはありますが、夜間などに立ち入れるようになることにより、遺跡の保全が難しい状況が発生しそうで怖いです。

○県内にお住まいのかた

・貴重な場所を多くの人に見てもらいたいと思うが、遺跡の保存状態が悪くなってしまうのが不安

○県外にお住まいのかた

・外国人問題が度重なる中、厳格な施設の管理運営方法が未定の現段階において公開はすべきではない。

<場内にあるとよい設備について> 分類以外原文のまま記載しております

○工作物について

- ・発掘資料、写真などを展示してある小屋、出土品展示などの資料館
- ・総合案内所
- ・トイレ
- ・遊歩道や通路
- ・喫茶店
- ・(屋根付き)ベンチ、テーブル、あずまや
- ・駐車場(公園を犠牲としない別のところで)
- ・加曽利貝塚のように掘り下げた断面を見ることができる施設
- ・木道のように直接盛土を踏まなくても見学できるもの
- ・バス停
- ・休憩所、学習施設、図書館みたいな、イベント開催所、お土産屋

○説明板や展示等について

- ・現在と昔の比較できるジオラマや縄文海進時代のジオラマ、遺跡全体のジオラマ
- ・入口付近に地形を再現した模型の設置
- ・各エリアの解説板
 - マウンドをはじめとする地中埋蔵物に関する最低限の説明板
- ・歴博のように人形までは置かずとも、住居などは復元して縄文時代を想像出来るように
- ・現在と発掘時の同方向からの写真比較
- ・映像やVRで当時の様子や暮らしを体験できる

○システムについて

- ・入口に、QRコードとかでいいので認証システムを作る
- ・アプリ説明書

○防犯対策について

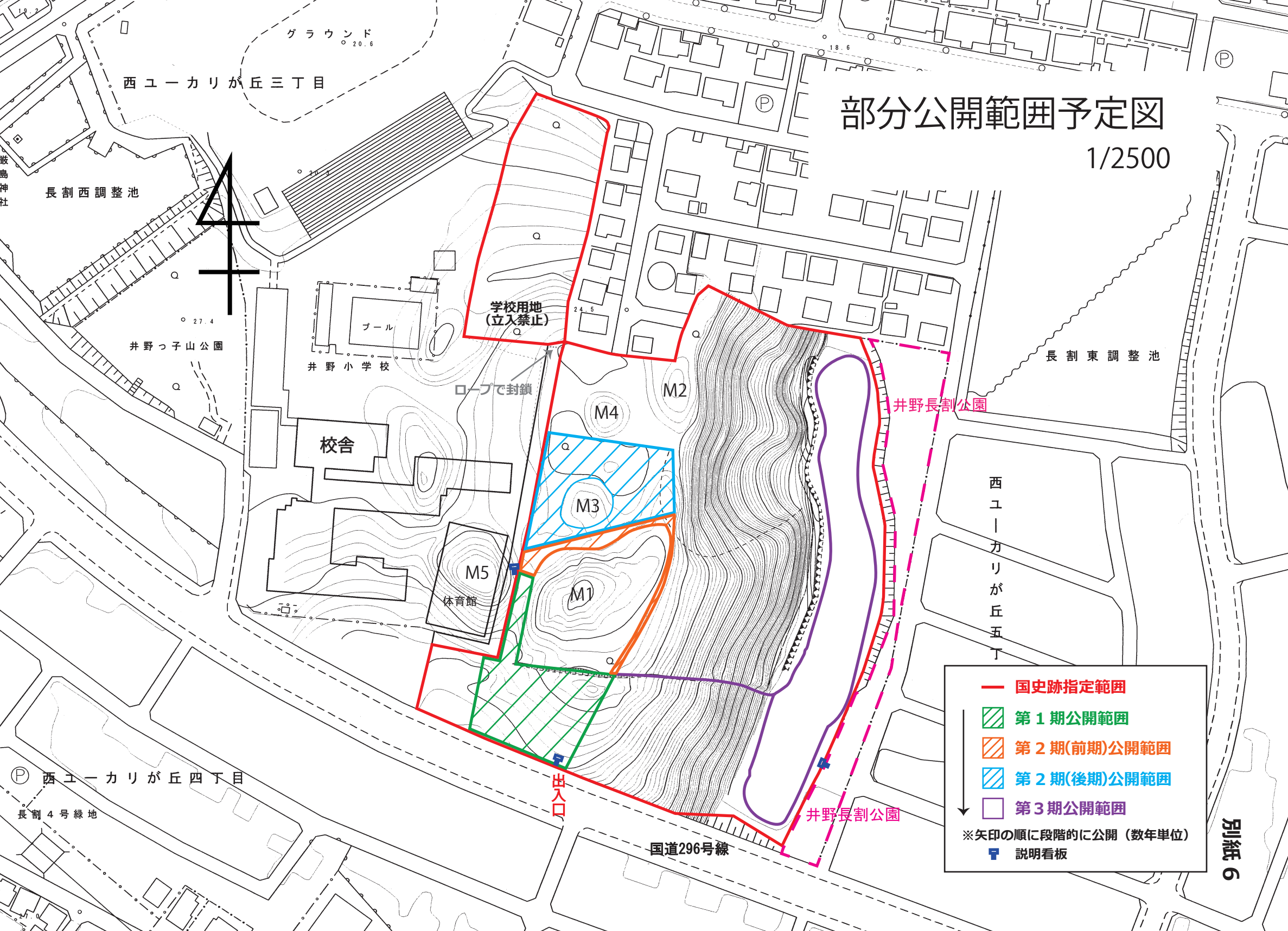
- ・夜間閉鎖の門、管理センターや守衛室(展示あり)、住宅地隣接箇所へ防犯設備
- ・監視カメラ

審議事項 部分公開について

1	概要	別紙6・7
<p>M1 南側を部分的に公開する。公開に際し、遺跡全体の説明看板及びM5の説明看板を設置する。順路は設置せず、公開範囲内は自由に見学できるようにする。</p> <p>M5の説明看板前の細長い通路上の範囲は、園路ではなく、公開範囲の都合による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開範囲及び説明看板設置場所：別紙6のとおり ・現在公開している内容の修正（Google Mapや市・県ホームページ等） ・3月1日の午前10時～12時まで実施する春季見学会終了後に部分公開を開始 ・北側住宅街の木製看板に正規の入口に誘導する地図の掲示を行う：別紙7のとおり 		
2	禁止事項	別紙8
<p>以下の内容を注意事項として、ホームページや市・文化課SNS、史跡内での掲示を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロープ外への侵入・通り抜け ・ペット同伴 ・火気の使用 ・ごみのポイ捨て ・動植物の採取 ・乗り物での侵入 ・その他、他の見学者の迷惑になる行為や遺跡の損傷につながる行為 		
3	利用時間について	
<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡内に立ち入りが可能なのは、午前9時から午後4時までとする。 		
4	防犯カメラの設置について	別紙9
<ul style="list-style-type: none"> ・住民意見交換会やアンケートを通して、防犯カメラの設置についてご要望があった。 ・設置予定箇所は別紙のとおり。 ・年度内に設置を予定している。 		
5	今後の公開スケジュールについて	別紙10
<ul style="list-style-type: none"> ・最短で令和10年度に「2期（前期）」を公開する予定である。 →ただし、今回の公開を経て、公開範囲内の利用状況や周囲の様子を踏まえて十分な対策を取ったのち、時期を見て公開範囲の拡大に移ることとする。 		

部分公開範囲予定図

1/2500



- 国史跡指定範囲
- 第1期公開範囲
- 第2期(前期)公開範囲
- 第2期(後期)公開範囲
- 第3期公開範囲

※矢印の順に段階的に公開(数年単位)
■ 説明看板

ここは 遺跡の出入口ではありません



反対(国道296号)側へお回りください



こちらからはご入場いただけません

見学者のみなさまへ

史跡内への立ち入りは、**午前 9 時から午後 4 時まで**です。

下記の禁止事項を守って見学してください。

なお、安全・防犯対策として、防犯カメラを設置しています。



禁止事項



- ・ ロープ外への侵入、通り抜け
- ・ ペット同伴
- ・ 火気の使用
- ・ 乗り物での侵入
- ・ 動植物の採取
- ・ ごみのポイ捨て
- ・ その他、他の見学者の迷惑になる行為や遺跡の損傷につながる行為

連絡先 佐倉市役所 魅力推進部 文化課 ☎ 043-484-6192



カメラ設置箇所（南から）



カメラ設置箇所（南東から）

【参考】



井野小学校前交差点防犯カメラ（南西から）



井野小学校前交差点防犯カメラ拡大（南西から）

公開等スケジュール

	エリア	R7	R8	R9	R10	R11	R12	...	備考
公開1期	M1南								
公開2期(前期)	M1—M3間								
公開2期(後期)	M3—M4間								
公開3期	谷底								公開時期未定
標柱移設									北標柱を井野っ子山へ
説明看板									①遺跡全体・縄文の道 →①遺跡全体・M5 【今後予定しているもの】 ・縄文の道 ・広場・斜面
周年事業			20					25	

黒線:予定
赤線:実績